

TOKYO FUTURE VISION 東京未来ビジョン 懇談会通信

第 3 回
2017.5.23
東京都

発行：政策企画局計画部

この懇談会は、都における政策の推進や政策形成等に新たな発想を取り入れるため、各界の第一線で活躍している新進気鋭の若手の方々と意見交換を行うことを目的に設置されました。

出席者：小池百合子(座長) 青木亮輔 伊勢谷友介 太田雄貴 落合陽一 菊地裕介
くわばたりえ 高校生内閣 宿輪理紗 高橋みなみ 田口亜希 田根剛 西田圭志
蜷川実花 長谷部健 パックン 松澤香 メイミ モハメド・オマル・アブディン
山科ティナ ※敬称略、五十音順

※ 画像をクリックすると動画が見られます

高橋みなみ氏のプレゼンテーション

東京にはブロードウェイのような劇場等の集積地がなく、増加するライブビジネス需要に応えるライブ会場も不足しています。そこで、様々な劇場やスタジアム、ショッピングモールなど、エンターテインメント施設を集めた場所をつくり、東京を国際的なエンターテインメント都市としてアピールする「Tokyo Entertainment City構想」を提案します！



太田雄貴氏のプレゼンテーション

Tokyo2020を迎える中、僕たちが今しなければいけないこと、それが「スポーツ応援文化」をつくることです。スポーツを観戦する中で、競技説明だけでなく、応援の仕方、その基本を学んでいく。その中で、まずスポーツ選手が応援されることで、頑張っている人をねたむのではなく応援する社会になっていくと思います。



長谷部健氏のプレゼンテーション

インターネットから始まったオープンイノベーションの波からもたらされた「第4次産業革命」と呼ばれる新しい時代が始まるようとしています。次世代通信網（5G）の整備、次世代デジタルサイネージやAR技術の活用、最新テクノロジーを駆使したフューチャー・スタジアムなど、50年、100年先に渋谷、そして東京がアジアに誇る、世界に誇るエンターテインメントシティになることを提案します。



皆の暮らしているところにエンターテインメントが自然に存在する、そういった多様性も同時に進めたい。(菊地氏)

箱物を建てるのはマジでダサいけれど、あるものを使って転換するのはめっちゃクール。例えば、空いている物件をギャラリーにするなど。(落合氏)

出席者の
発言

日本の都市計画は、大きく言うと“計画”ではなかった。区域や地区を限定して、その環境をどうするかと考えるといくと、まちは変わる。(田根氏)

大学生などの、幅広い専門性や経験を持つ方々が、それを生かし、つながれる環境をつくると良い。(宿輪氏)